

地域説明

まちづくり説明会（住民説明会）

- ・日 時：①令和5年10月5日（木）午後7時～午後8時30分
②令和5年10月7日（土）午前10時～午前11時30分
- ・場 所：高島平区民館ホール（高島平3-12-28）
- ・内 容：交流核形成まちづくりプラン（中間のまとめ）について
- ・参加者：地域住民 107名（①53名、②54名）



まちづくり連絡会（地域との意見交換会）

- ・日 時：令和5年10月31日（火）午後7時～午後8時30分
- ・場 所：高島平区民館ホール（高島平3-12-28）
- ・内 容：交流核形成まちづくりプラン（中間のまとめ）について
- ・参加者：町会・自治会等からの推薦委員及び公募委員 18名



皆様からいただいた主なご質問・ご意見

●プランについてのご質問

- (Q1) にぎわい・交流のイメージは？
(A1) 住まう・楽しむ・買う・憩う・学ぶなどの様々な活動が重なり、出会いが生まれる状態を「にぎわい」と定義し、交流核が魅力的な場所になることをめざす。
- (Q2) 高島平のけやき通りは板橋十景にふさわしい空間の形成を。
(A2) けやき通りは高島平を象徴する空間である。「歩いて楽しい街並みの形成」として、道路空間だけでなく沿道の建物も含めた一体的な手法を検討していく。

●スケジュールについてのご質問

- (Q3) 再整備地区が令和7年度着工となっているが、解体工事のことか？
(A3) まずは旧高七小の校舎の解体工事の着手を考えている。

●建物計画についてのご質問

- (Q4) 再整備地区で建設する建物の整備内容は？
(A4) 再整備地区には、住宅機能や商業機能など、地域にお住まいの皆様様の生活に必要な機能を配置する想定だが、建物計画は、プランの策定後に具体化していく。

●都市計画についてのご質問

- (Q5) 地区計画の策定期限や範囲は？
(A5) 今年度にプランの中で将来像をまとめ、来年度に地区計画の策定手続きを予定している。地区計画の範囲は、現在検討中である。
- (Q6) 地区計画による建物の高さ制限については？
(A6) まちづくりの考え方を整理したうえで、高さの誘導が必要であれば、検討の対象になる。

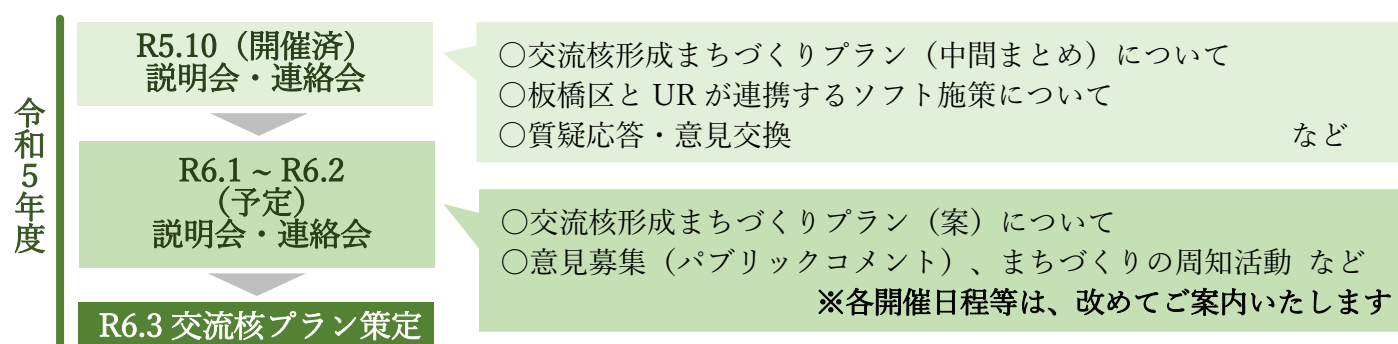
●いただいた主なご意見

- ・説明資料の分量が多い。イラストでわかりやすく、コンパクトに示してほしい。
- ・高島平駅との連携が重要。
- ・移動弱者の通院や買い物など、日常生活の不便を解消でき、災害時にも活用できる、移動手段（モビリティ）の充実に取り組んでほしい。
- ・にぎやかな街並みや新しい人口流入が起きることに期待。
- ・住みたいまちランキングトップになるくらいの街を作してほしい。
- ・多様な世代が買い物や食事を楽しめる街に。
- ・スピード感を持って進めてほしい。
- ・今ある緑をなるべく減らさないように進めてほしい。
- ・通り抜けできない道路があるなど、道路計画を考えてほしい。

※説明会や連絡会の資料は、板橋区のホームページに公開しています

※令和5年12月の開催を予定していた次回の説明会・連絡会は、下記の通り、来年1月～2月に開催時期を見直すこととしました

今後の予定

高島平地域
まちづくりのお知らせ(かわら版) 第4号

#平暮らしキャラバン3rd
(赤塚公園・9/30)

板橋区とUR都市機構は、まちづくりの事業展開を具体化する「高島平地域交流核形成まちづくりプラン」を共同で検討しています。

また、まちづくりの機運醸成に向けた様々な取組を進めています。



ベア基教室
(高島平団地・10/30～)

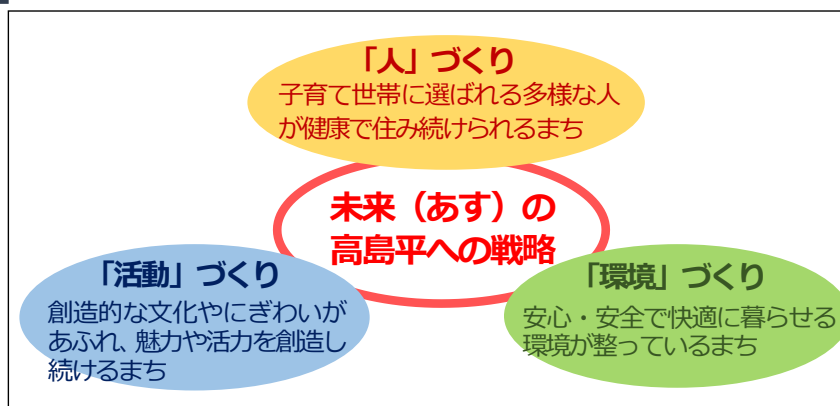


高島平ポットラック
(高島平緑地・11/26)

交流核形成まちづくりプラン『中間のまとめ』を公表しました！

●『中間のまとめ』の概要 ※2～3ページもご覧ください

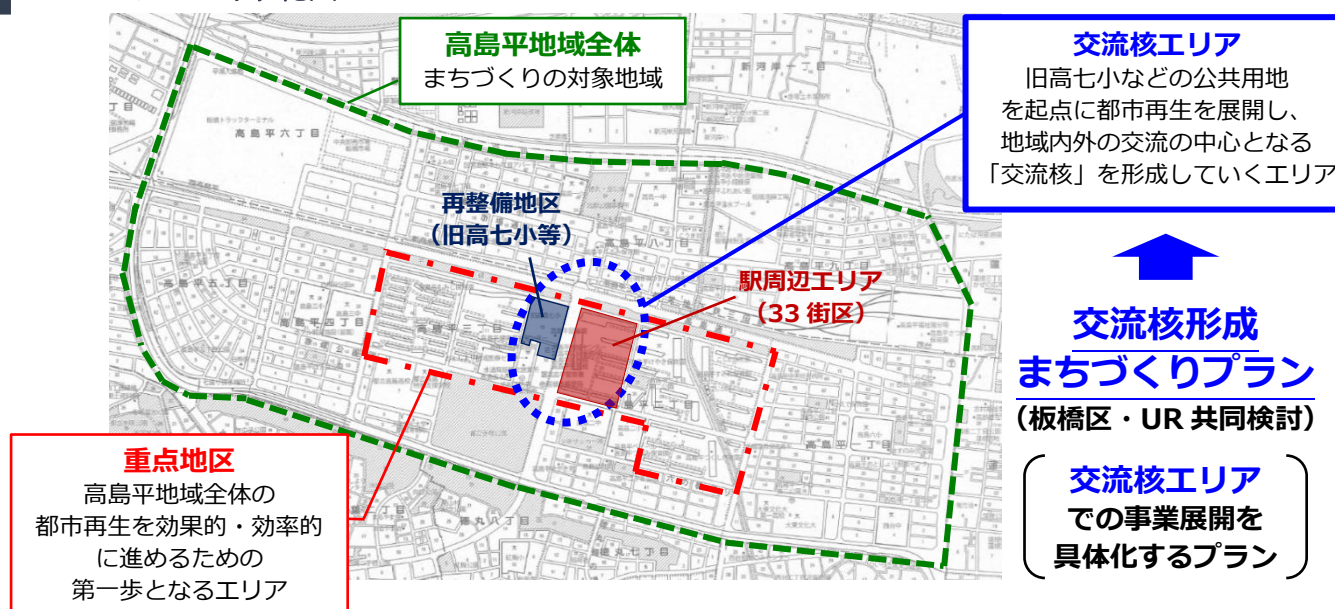
未来（あす）の高島平への戦略（イメージ）



まちづくりの進め方

- 住み続けられるまち
 - ・引き続き安心して住み続けられる段階的なまちづくり
- 地域の魅力を大切にしたいまち
 - ・地域資源やまちの魅力を大切にしながら、新しい時代にふさわしい柔軟性と可能性に満ちたまちづくり
- みんなでつくる、成長するまち
 - ・全ての人が主役となり、みんなで協力しながら、ともに成長していけるまちづくり

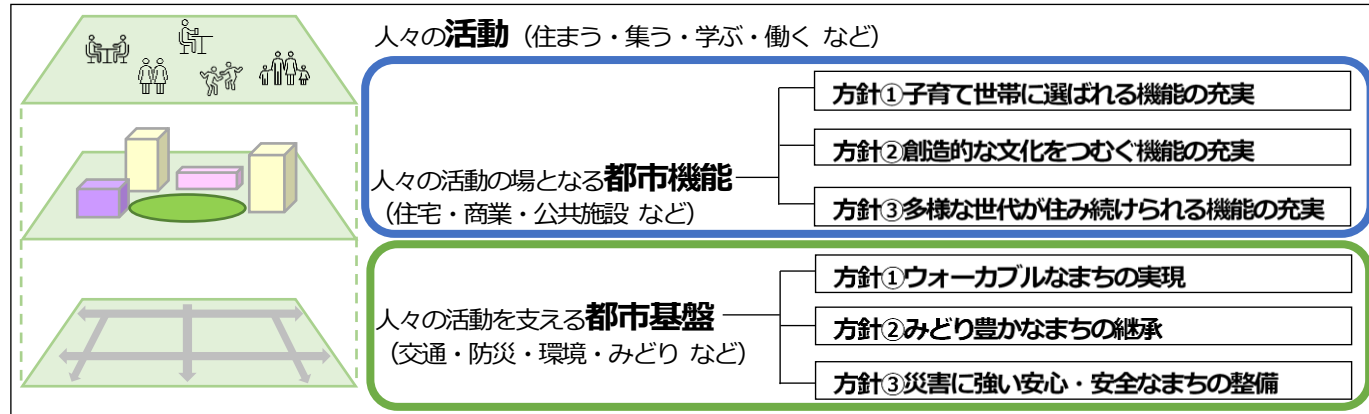
まちづくりの対象範囲



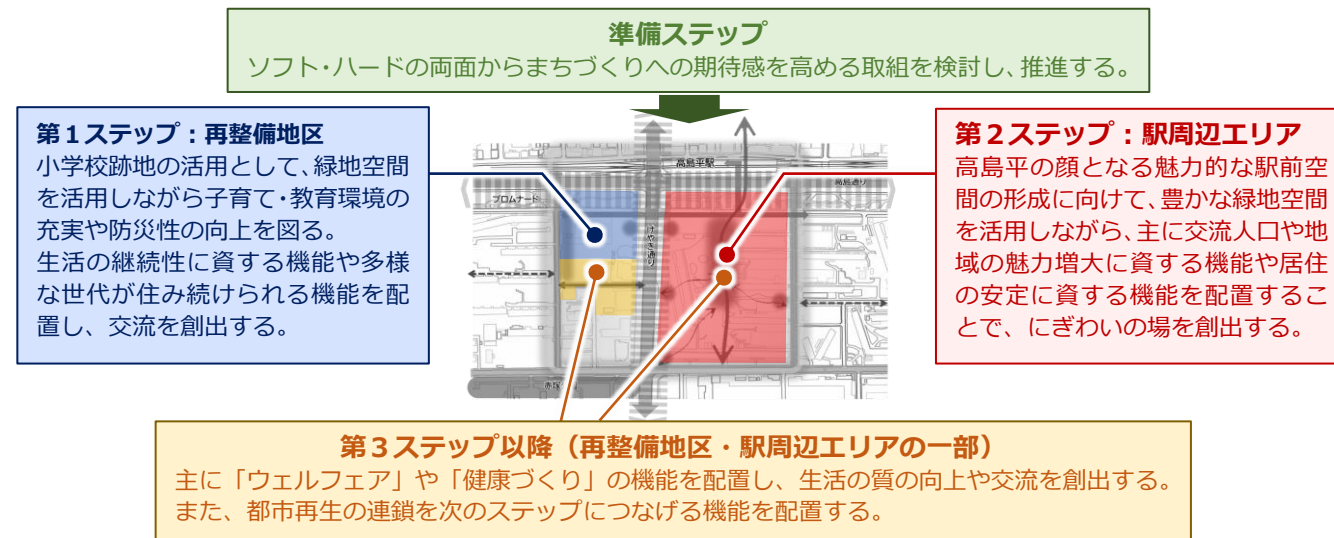
●交流核形成まちづくりプラン『中間のまとめ』の概要（つづき）

交流核の形成に向けた取組の視点（構成イメージ）

未来（あす）の高島平に向けて、人々の多様な「活動」を創造し、育み、支える視点を大切にしながら、活動の場となる「都市機能」や活動を支える「都市基盤」のあり方を考えていきます。



段階的なまちづくり（連鎖的都市再生）の考え方

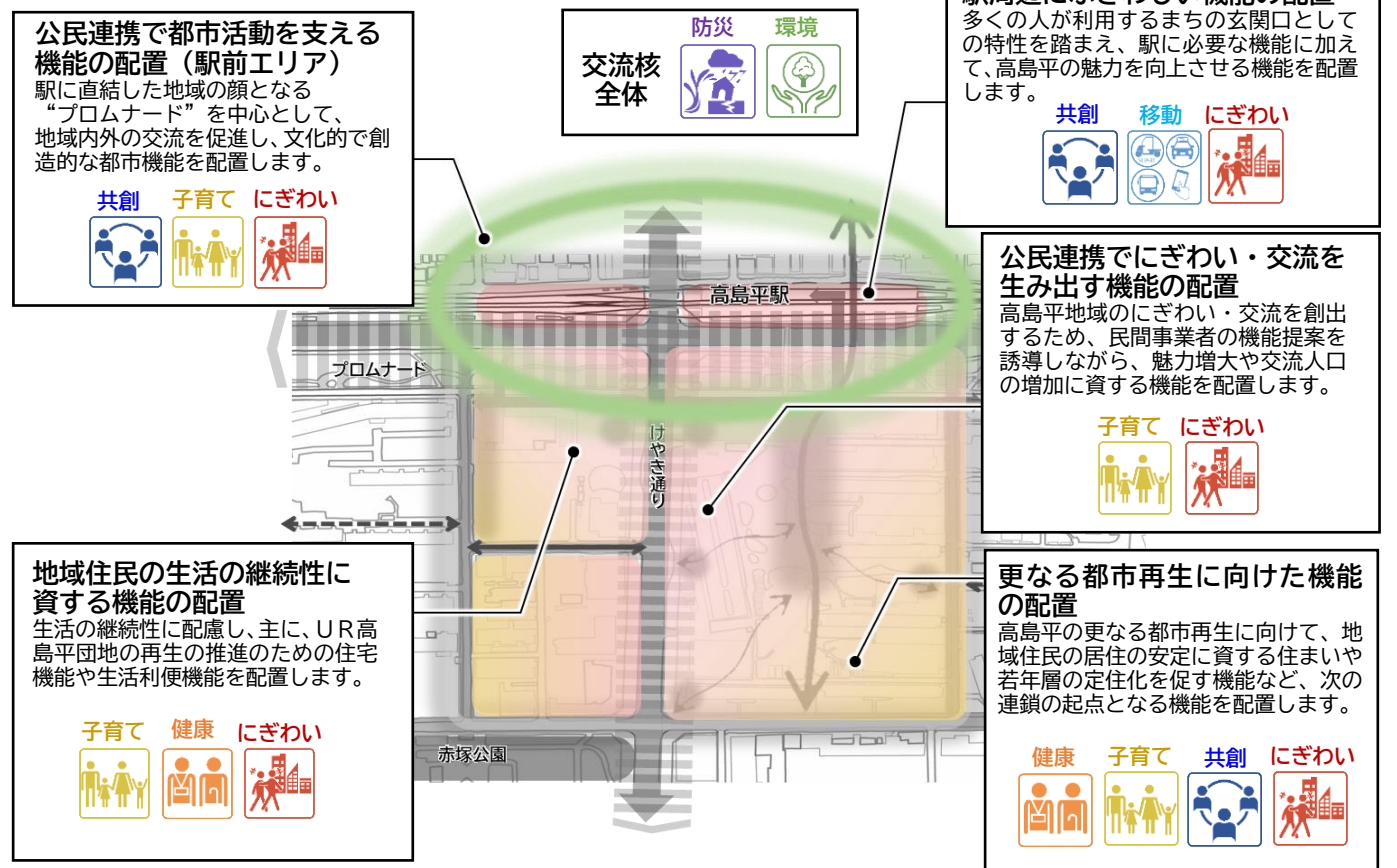


事業展開フロー

※「G.D.」とは、板橋区がH27に策定した「高島平地域グランドデザイン」のこと

時期	G.D. 第1期			G.D. 第2期 ～R17	G.D. 第3期 ～R27
	R 5	R 6	R 7		
交流核形成まちづくりプラン	策定 検討 → 区・UR・民間事業者の3者共同による取組の検討・実施				
都市計画変更	地区計画の策定 → 地区計画・用途地域等 の変更に係る検討				
再整備地区	事業化に向けた検討 → 旧高七小の解体の調整			着工 生活の継続性 に資する機能 の配置 公共施設 機能の配置	
駅周辺エリア	連鎖的都市再生の推進 →				
	再整備地区の進捗状況に 合わせて段階的に整備				

都市機能の整備イメージ



都市基盤の整備イメージ

